

事務事業評価シート

事務事業コード	007600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	医師確保対策事業		所属名	公営企業 鳥取市立病院

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市立病院医師奨学金貸与条例
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	その他
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立病院の常勤医師
意図 (どのような状態にするために)	地域医療を支える自治体病院として、また、東部医療圏の中核病院として地域住民に安定した医療機能体制の提供
手段 (どうするのか)	将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与(12名)する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	
年度別実績	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与5名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与4名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与2名				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,361	9,966	5,162	0	29,364	
	直接経費 A	12,000	9,600	4,800	0	29,364	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,000	9,600	4,800	0	29,364		
人件費 B	361	366	362	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	人	目標	12
	(指標の説明)		実績	5	4	2	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院総務課 0857-37-1522</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより鳥取市立病院の医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 毎年度、医師奨学生を募集・決定し、奨学金を貸与する。 募集人員2名(定員各学年ごとに2名、計12名) 貸与額 200,000円/月(入学年度の4月のみ282,000円加算)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当年度 医師奨学生数</th> <th>次年度 初期臨床研修開始医師</th> <th>次年度 常勤開始医師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>5名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>4名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも地域医療を確保していくためには、医師確保を大学医局人事のみに頼ることなく、病院自ら医師を養成し、確保していく体制を継続していく必要がある。</p>		当年度 医師奨学生数	次年度 初期臨床研修開始医師	次年度 常勤開始医師	平成27年度	7名	2名	1名	平成28年度	5名	1名	1名	平成29年度	4名	2名	0名	平成30年度	2名	1名	1名
		当年度 医師奨学生数	次年度 初期臨床研修開始医師	次年度 常勤開始医師																	
平成27年度	7名	2名	1名																		
平成28年度	5名	1名	1名																		
平成29年度	4名	2名	0名																		
平成30年度	2名	1名	1名																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	42%	33%	17%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>全国的な医師不足傾向の中、将来当院に勤務することとなる医学生を確保するための奨学金制度であるが、応募者が減少傾向にあり、当年度は2名の応募はあったものの両者とも辞退となった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>全国的な医師不足傾向の中、将来当院に勤務することとなる医学生を確保するための奨学金制度であるが、応募者が減少傾向にあり、当年度は2名の応募はあったものの両者とも辞退となった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>全国的な医師不足であり、大学医局へ医師派遣要請を粘り強く継続しているが、不足する専門医の確保にはつながらない。そのような中、本制度により、将来当院に勤務することとなる医学生を確保し、常勤医師としての勤務にもつながってきている。しかしながら、近年応募者が減少しており、今後より一層広報に努め、奨学生の確保を図る必要がある。また、奨学金を途中で一括返還し退職する医師も生じていることもあり、勤務する医師に対して魅力ある病院づくりが必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	単位老人クラブ活動助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	単位老人クラブ活動補助金			予算事業コード	01-03-01-05-11-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	単位老人クラブ
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の生きがいを高めるとともに健康づくりを促進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため。
手段 (どうするのか)	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。
年度別実績	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	16,604	16,139	15,760	0	0	
	直接経費 A	15,160	14,675	14,311	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,434	10,183	4,783	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,726	4,492	9,528	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	老人クラブ会員の維持	人	目標	12935
	(指標の説明)		実績	12908	12655	12432	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 高齢者の生きがいや健康づくりを推進する老人クラブの活動に対し、老人クラブの会員数に応じて助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 老人クラブの活動を支援し、高齢者のつながりや生きがい、健康づくりを推進した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[クラブ数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">15,160千円</td> <td style="text-align: center;">267クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">14,675千円</td> <td style="text-align: center;">258クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">14,311千円</td> <td style="text-align: center;">250クラブ</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 老人クラブは、会員の健康づくりや介護予防の取り組み加え、子どもの通学時の見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動なども行っている。地域福祉の重要な担い手として更なる活動の展開が期待される場所であるが、クラブ数及び会員とも減少傾向が続いており、会員の増加に向けた取り組みが必要である。</p>		[決算額]	[クラブ数]	平成28年度	15,160千円	267クラブ	平成29年度	14,675千円	258クラブ	平成30年度	14,311千円	250クラブ
		[決算額]	[クラブ数]										
平成28年度	15,160千円	267クラブ											
平成29年度	14,675千円	258クラブ											
平成30年度	14,311千円	250クラブ											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	老人クラブ会員の維持	100%	100%	98%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図るため、継続実施すべきものと考えます。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者介護予防支援バス運行事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費			予算事業コード	01-03-01-01-08-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	60歳以上の高齢者の団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など高齢者が参加する機会の拡大
手段 (どうするのか)	運行条件を満たす場合に、バスを運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 高齢者バスの運行	平成29年度 高齢者バスの運行	平成30年度 高齢者バスの運行	平成31年度 高齢者バスの運行	令和2年度 高齢者バスの運行	
	年度別実績	高齢者バスの運行 運行件数:591件 利用者数:10,580人	高齢者バスの運行 運行件数:576件 利用者数:10,126人	高齢者バスの運行 運行件数:623件 利用者数:10,993人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,977	8,297	9,281	0	0	
	直接経費 A	7,833	8,151	9,136	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,833	8,151	5,122	0	0
一般財源	0	0	4,014	0	0		
人件費 B	144	146	145	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	バスの運行件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
			件	目標	592	591	591	0	0	
			実績	591	576	623	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P49(福001)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体に対して高齢者バスを運行し、高齢者の生きがいづくりや地域交流の推進を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[利用件数]</td> <td style="text-align: center;">[利用者数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">591件</td> <td style="text-align: center;">10,580人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">576件</td> <td style="text-align: center;">10,126人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">623件</td> <td style="text-align: center;">10,993人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 運行年数が20年を超えた車両が3台あり、今後事業に使用できるバスの台数の減少が見込まれるため、公共交通機関利用助成事業への転換などの検討が必要である。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>		[利用件数]	[利用者数]	平成28年度	591件	10,580人	平成29年度	576件	10,126人	平成30年度	623件	10,993人
		[利用件数]	[利用者数]										
平成28年度	591件	10,580人											
平成29年度	576件	10,126人											
平成30年度	623件	10,993人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	バスの運行件数	100%	97%	105%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続実施すべきものと考えているが、バスの更新に際しては、公共交通機関利用促進事業への転換も含め効率的な事業の実施について検討を要する。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	007900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通機関利用助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	0	0	運営方法	外部委託
	0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通機関利用助成事業費	予算事業コード	01-03-01-05-13-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60歳以上の高齢者の団体 ・ 各地区公民館を拠点に活動している団体
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など各種研修、生きがいを高めるためのレクリエーションへの参加など条件を満たす場合、また市民が、研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、市民が研修を受ける機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉バスが運行できない運行時間外、土日祝祭日、年末年始を補完するため、貸切バスの利用に対して助成を行う。 ・ 各地区公民館を拠点に活動している団体が、各種大会、研修会などへ参加するため貸切バスを利用した場合助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	
	年度別実績	公共交通機関利用助成 利用件数: 122件	公共交通機関利用助成 利用件数: 112件	公共交通機関利用助成 利用件数: 117件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,845	6,330	6,544	0	0	
	直接経費 A	6,701	6,184	6,399	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,701	6,184	6,399	0	0	
人件費 B	144	146	145	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	助成件数	件	目標	118	123	120	120	120
				実績	122	112	117	0	0
	(指標の説明)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-20-3449</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P52(福008)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体が、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、健康保持のための教養講座、研修などに参加する場合、または、市民が地域活動や研修会などへ参加する場合において、貸切バスなどを利用した場合、その経費の一部を助成する。</p> <p>(対象等)・60歳以上の高齢者の団体、また各地区公民館を拠点に活動している団体 ・対象となる5万円までの基本運賃に対して、10/10助成する。 ・利用回数は、年度中に1団体1回 (助成上限)50,000円</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[利用件数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">6,701千円</td> <td style="text-align: right;">122件(高齢者84件・一般38件)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">6,184千円</td> <td style="text-align: right;">112件(高齢者72件・一般40件)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">6,399千円</td> <td style="text-align: right;">117件(高齢者71件・一般46件)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者の社会参加の促進は、健康づくりや介護予防にも効果があり、継続して取り組むことで高齢者福祉の増進を図る。</p>		[決算額]	[利用件数]	平成28年度	6,701千円	122件(高齢者84件・一般38件)	平成29年度	6,184千円	112件(高齢者72件・一般40件)	平成30年度	6,399千円	117件(高齢者71件・一般46件)
		[決算額]	[利用件数]										
平成28年度	6,701千円	122件(高齢者84件・一般38件)											
平成29年度	6,184千円	112件(高齢者72件・一般40件)											
平成30年度	6,399千円	117件(高齢者71件・一般46件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	助成件数	103%	91%	98%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続実施すべきものとする。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008000	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防教室事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	おたっしや教室事業費			予算事業コード	15-09-01-02-01-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	運動機能等の低下など要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者
意図 (どのような状態にするために)	自発的・継続的な介護予防の取組みを促進
手段 (どうするのか)	介護予防に資する通所型運動教室を実施して、介護予防の知識・意識を啓発する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	おたっしや教室開催 目標参加者 710人 ・地区公民館型 540人 ・健康増進施設型 180人	おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民館のみ)	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	
	年度別実績	おたっしや教室開催 実績 開催:4施設、36教室 参加者:729人 ・地区公民館型 549人 ・健康増進施設型 180人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:457人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:472人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	32,512	29,308	29,530	0	0	
	直接経費 A	32,512	27,478	27,719	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	12,192	9,087	9,843	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	16,256	14,847	14,998	0	0
	一般財源	4,064	3,544	2,878	0	0	
人件費 B	0	1,830	1,811	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	参加人数	人	目標	710	720	460	460	460
				実績	729	457	472	0	0
	(指標の説明) おたっしや教室参加人数(実)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P320(介004)</p> <p>【事業の概要】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器機能の維持・向上のための運動の指導・習慣化を図る教室を、地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進する。 ・概ね毎週1回、全12回(3か月間)開催 ・教室1回あたり90分間、運動指導に加え、栄養・口腔に関する講話を実施 ・利用料：500円 ・必要に応じて送迎あり ・教室終了後も自発的に活動継続できるよう、地域の介護予防教室やサロン等の紹介</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">[決算額]</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">[公民館型数]</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">[健康増進施設型]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">32,512千円</td> <td style="text-align: right;">549名(計58教室)</td> <td style="text-align: right;">180名(4施設 計36教室)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">27,478千円</td> <td style="text-align: right;">452名(計58教室)</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">27,719千円</td> <td style="text-align: right;">472名(計58教室)</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動機能の維持・向上のための運動を指導し、その習慣化を図る教室を地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進する。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の手数料は、介護予防運動教室事業手数料。 その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金。</p>		[決算額]	[公民館型数]	[健康増進施設型]	平成28年度	32,512千円	549名(計58教室)	180名(4施設 計36教室)	平成29年度	27,478千円	452名(計58教室)	-	平成30年度	27,719千円	472名(計58教室)	-
		[決算額]	[公民館型数]	[健康増進施設型]													
平成28年度	32,512千円	549名(計58教室)	180名(4施設 計36教室)														
平成29年度	27,478千円	452名(計58教室)	-														
平成30年度	27,719千円	472名(計58教室)	-														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	参加人数	103%	63%	103%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進するため、随時事業内容の見直しを行ないながら継続的に実施していきたいと考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008100	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
	施策	1302	地域包括ケアの推進			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症地域支援・ケア向上事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする。
手段 (どうするのか)	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族の相談支援の実施と医療・介護等の関係機関と連携して、地域における認知症の人の支援体制の構築と認知症ケアの向上に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	
	年度別実績	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,842	10,981	11,243	0	0	
	直接経費 A	5,398	9,517	9,794	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,158	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,187	0	0	0	0
	一般財源	1,053	9,517	9,794	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	認知症地域支援推進員配置数	人	目標	1	2	2	2	2	
				実績	1	2	2	0	0	
	(指標の説明) 平成29年度に2名配置とし、当面は2名体制を継続する。									
	2	認知症カフェ設置数	箇所	目標	7	8	10	15	18	
実績				7	8	8	0	0		
(指標の説明) 日常生活圏域に1か所の認知症カフェの設置を目指す。										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P323(介009)</p> <p>【事業の概要】 国が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿って「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることのできる社会」の実現を目指し、認知症施策の充実に取り組んでおり、平成27年7月より認知症地域支援推進員を法人委託により配置し、官民協働で認知症施策を推進している。</p> <p>【事業の成果】 認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族の専門的な相談対応や支援の仕組づくり、あるいは関係者の認知症対応力の向上に取り組むことで、本市の認知症ケアの向上と医療・介護等の関係機関との連携強化につながった。さらに、認知症の人やその家族等の身近な集いの場、あるいは相談や情報収集が可能な場となる認知症カフェの運営支援を行い、認知症支援の充実につながった。</p> <p style="text-align: right;">[決算額] [推進員配置数] [認知症カフェ箇所数]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成28年度</td> <td style="width: 30%;">5,398千円</td> <td style="width: 20%;">1名</td> <td style="width: 20%;">7箇所</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>9,517千円</td> <td>2名</td> <td>8箇所</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>9,794千円</td> <td>2名</td> <td>8箇所</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 認知症地域支援推進員の取組みは定着しつつあるが、取組みを地域に広げていくため、今後は地域包括支援センターなど、より地域に密着した形での設置についても検討する。</p> <p style="text-align: center;">その他財源のその他は、介護保険料。</p>	平成28年度	5,398千円	1名	7箇所	平成29年度	9,517千円	2名	8箇所	平成30年度	9,794千円	2名	8箇所
	平成28年度	5,398千円	1名	7箇所									
平成29年度	9,517千円	2名	8箇所										
平成30年度	9,794千円	2名	8箇所										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	認知症地域支援推進員配置数	100%	100%	100%		
	2	認知症カフェ設置数	100%	100%	80%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後、高齢者の増加に伴い認知症の人増加が見込まれており、認知症支援体制の充実を図るためには、より地域に密着した認知症地域支援推進員の増員配置を検討していきたいと考える。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008200	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症初期集中支援推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	認知症初期集中支援推進事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-04

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	早期診断・早期対応により医療・介護サービス等による適切な支援に移行する
手段 (どうするのか)	医療・介護の専門職で取組む認知症初期集中支援チームを設置し、初期集中支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム
年度別実績	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,993	3,399	4,542	0	0	
	直接経費 A	549	1,311	3,093	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	321	767	1,786	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	121	288	711	0	0
	一般財源	107	256	596	0	0	
人件費 B	1,444	2,088	1,449	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
				1	チームの設置数	箇所数	目標 1	実績 1	目標 2	実績 2
(指標の説明) チームを地域包括支援センターに1箇所設置する。										
2	初期集中支援ケース数	件数	目標 5	実績 5	目標 50	実績 13	目標 40	実績 0	目標 60	実績 0
(指標の説明) 1チームあたり20件の初期集中支援検討とする。										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8203 【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる医療職・介護職で構成する「認知症初期集中支援チーム」の設置し、地域のかかりつけ医や介護事業者等と連携して、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p> <p>【事業の成果】 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族の初期の支援を包括的・集中的に行うことで、認知症の人の早期診断・早期対応、あるいは支援体制の構築などに取り組んだ。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[チーム数]</td> <td>[初期集中支援ケース数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>549千円</td> <td>1チーム</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,311千円</td> <td>2チーム</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,093千円</td> <td>2チーム</td> <td>15件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 認知症初期集中支援チームの取り組みは、どのような支援ケースが有効なのか、医療や介護の専門職、あるいは地域の福祉関係者等にまだ十分に浸透していないと思われるため、一層の周知が必要と考える。また、チーム数を増加させ、活動範囲を狭くすることで、より身近な存在となる仕組みとするため、人員体制の強化についても検討していく。</p> <p style="text-align: center;">その他財源のその他は介護保険料。</p>		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]	平成28年度	549千円	1チーム	5件	平成29年度	1,311千円	2チーム	13件	平成30年度	3,093千円	2チーム	15件
		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]													
平成28年度	549千円	1チーム	5件														
平成29年度	1,311千円	2チーム	13件														
平成30年度	3,093千円	2チーム	15件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	チームの設置数	100%	200%	100%		
	2	初期集中支援ケース数	100%	26%	38%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>事業開始以降、支援ケース数はH28:5件、H29:13件、H30:15件と推移し、平成30年度は目標40件に対して実績15件(達成率37.5%)と低い水準となっている。認知症支援に大変有効な事業であり、関係者との連携や支援につなげる仕組み・実施方法の改善が必要である。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>認知症の早期発見・早期対応は、認知症施策において重点的な取り組みに位置つける事業であり、認知症地域支援推進員の増員配置と連動させながら認知症初期集中支援チームの拡充を図っていきたいと考える。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008300	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)	
	0	0	運営方法	外部委託	
	0	0	会計区分	特別会計	
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-03-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療や介護が必要となった住民
意図 (どのような状態 にするために)	住み慣れた地域で可能な限り最後まで暮らし続けることができるように
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会を拠点に、関係する医療・介護の多職種で、課題解決策の検討、情報共有、知識研修の場を設け更なる連携を強化し、東部地域全体で住民の在宅療養(生活)を支える仕組みを構築していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		厚生労働省が示している8項目の事業を早期に開始できるよう取り組む	厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを開始する	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる
事業費	年度別実績	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを開始した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	27,018	26,287	22,306	0	0
	直接経費 A	12,580	11,649	7,820	0	0
直接経費の財源内訳	国・県	5,783	5,369	3,561	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,869	4,490	3,072	0	0
	一般財源	1,928	1,790	1,187	0	0
	人件費 B	14,438	14,638	14,486	0	0
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	項目	目標	7
			実績	8	8	8	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療介護連携係 0857-54-1970</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P322(介007)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、県東部圏域の1市4町と県東部医師会が連携して、国が定める在宅医療・介護連携を推進するための8つの施策を実施する。</p> <p>(参考)国が定める市町村が実施すべき8つの施策</p> <p>医療・介護資源の把握、課題抽出・対策検討、関係者の研修 在宅医療・介護の提供体制の構築推進、情報共有の支援、相談支援 住民への普及啓発、関係市町村の連携</p> <p>【事業の成果】</p> <p>在宅医療・介護連携を推進するため、次の取組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東部地区在宅医療介護連携推進協議会やワーキンググループ、他団体との各種検討会議により、課題解決に向けた活動を実施した。 [施策] 2 「医療・介護資源マップ」の再調査及び随時情報更新を実施した。 [施策] 3 連携中枢都市圏で終活支援ノートを作成し、寸劇DVD、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)パンフレットと一緒に活用した住民啓発学習会(37回)を開催した。 [施策] 4 事例検討等を行う多職種研修会(9回)、多職種関係者向けのACP周知研修会(29回：住民啓発内容の周知)を開催した。 [施策] 5 医療や介護の関係者からの相談支援を継続実施した。 [施策] 6 入院時の病院とケアマネジャーの業務手順書の策定に向けた協議を開始した。 [施策] <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>関係者の連携強化による更なる連携や情報共有の仕組みづくり、ACPの必要性を住民に周知する啓発が重要である。引き続き、行政(1市4町)と医師会が連携し、取り組みを継続していく。</p> <p>その他財源のその他は、介護保険料等</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	114%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには在宅療養の環境整備が不可欠であり、在宅療養の環境整備を図るため在宅医療・介護連携の取り組みを継続的に実施していくことが必要と判断する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008400	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	生活支援体制整備事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	事業分類区分	ソフト(義務)
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)		予算事業コード	15-09-02-01-04-02	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態にするために)	既存の通所介護や訪問介護だけでなく多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を確保する。
手段 (どうするのか)	関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して定期的に情報共・連携強化に取り組むとともに、「生活支援コーディネーター」を配置して地域の生活支援サービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 4名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 7名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名
年度別実績	検討会開催 3回 生活支援コーディネーター4名配置	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 7名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	23,635	28,174	34,960	0	0	
	直接経費 A	20,025	24,514	31,338	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,714	14,341	18,098	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,406	5,393	7,208	0	0
	一般財源	3,905	4,780	6,032	0	0	
人件費 B	3,610	3,660	3,622	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	生活支援コーディネーター配置数	人	目標	4
	(指標の説明)		実績	4	7	8	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P322(介008)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>通所介護や訪問介護などの介護保険のサービスだけでなく、多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を構築するため、関係多職種による「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」を設置して検討を行うとともに、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のサービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>生活支援サービス関係団体で構成する「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会(第1層協議体：全市対象)」において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議するとともに、「生活支援コーディネーター(第1層：全市域、第2層：日常生活圏域)」による地域での聞き取り等を行い、地域課題の把握やその解決に向けた検討を行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[生活支援C]</td> <td style="text-align: center;">[検討会会議]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 20,025千円</td> <td>4名(第1層：1名)</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(第2層：3名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成29年度 24,514千円</td> <td>7名(第1層：1名)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(第2層：6名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度 31,338千円</td> <td>8名(第1層：1名)</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(第2層：7名)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>今後も生活支援コーディネーターを複数名配置し、地域資源の調査や地域ニーズの把握等を行うとともに、「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」において、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの必要性やあり方等について検討を行う。また、第2層協議体の設置に向けた取り組みを進める。</p> <p>その他財源のその他は、介護保険料。</p>	[決算額]	[生活支援C]	[検討会会議]	平成28年度 20,025千円	4名(第1層：1名)	4回		(第2層：3名)		平成29年度 24,514千円	7名(第1層：1名)	1回		(第2層：6名)		平成30年度 31,338千円	8名(第1層：1名)	1回		(第2層：7名)	
[決算額]	[生活支援C]	[検討会会議]																				
平成28年度 20,025千円	4名(第1層：1名)	4回																				
	(第2層：3名)																					
平成29年度 24,514千円	7名(第1層：1名)	1回																				
	(第2層：6名)																					
平成30年度 31,338千円	8名(第1層：1名)	1回																				
	(第2層：7名)																					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生活支援コーディネーター配置数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%~150%未満：上回る」、「80%~100%以下：目標どおり」、「50%~80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域住民や地域の多様な主体が支え合い、助け合うことのできる仕組みづくりを推進するため、地域支え合い推進員を配置して、それぞれの地域の実状に即した活動を展開しながら地域資源の把握や地域課題の解決に向けて地域の福祉関係者と連携する取り組みを継続的に実施しなければならないと考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	佐治町国民健康保険診療所運営事業		所属名	福祉部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成2年度～全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	医科運営費			予算事業コード	16-01-01-02-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	佐治町をはじめとする地域住民
意図 (どのような状態にするために)	健康の維持増進及び医療の提供を行うために
手段 (どうするか)	安定的な医師の確保に努め、診療所の運営・維持を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	医師の勤務しやすい環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療サービスの提供	医師の勤務しやすい環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療サービスの提供	医師の勤務しやすい環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療サービスの提供	医師の勤務しやすい環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療サービスの提供	医師の勤務しやすい環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療サービスの提供
年度別実績	医療機器の整備 県からの自治医大卒業医師の派遣を継続 医療及び介護サービス(訪問リハビリ)のサービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒業医師の派遣を継続 医療及び介護サービス(訪問リハビリ)のサービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒業医師の派遣を継続 医療及び介護サービス(訪問リハビリ)のサービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒業医師の派遣を継続 医療及び介護サービス(訪問リハビリ)のサービスを継続実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	79,442	61,092	50,712	0	0	
	直接経費 A	51,785	33,189	28,983	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	827	866	852	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	34,825	32,323	28,131	0	0
一般財源	16,133	0	0	0	0		
人件費 B	27,657	27,903	21,729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	常駐医師数	人	目標	1
			実績	1	1	1	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】庶務係 0857-30-8221</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P310(国011)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進のため、民間では採算性の低い地域において公的診療所を維持し、地域医療サービスを提供する。</p> <p>診療科 内科、小児科、外科(開設：平成2年4月2日)</p> <p>職員 医師1名、看護師2名、非常勤事務職員1名(嘱託)</p> <p>【事業の成果】</p> <p>鳥取市立病院との医薬品共同購入等による経費の節減及び人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施により、収益向上に努めた。また、介護サービス空白地の解消のため、平成25年度に開設した訪問リハビリ事業も在宅サービスの向上につながっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成28年度</th> <th style="text-align: center;">平成29年度</th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間診療日数</td> <td style="text-align: right;">213日</td> <td style="text-align: right;">216日</td> <td style="text-align: right;">210日</td> </tr> <tr> <td>年間件数</td> <td style="text-align: right;">5,960件</td> <td style="text-align: right;">5,990件</td> <td style="text-align: right;">6,275件</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td style="text-align: right;">28件</td> <td style="text-align: right;">27.7件</td> <td style="text-align: right;">29.9件</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ</td> <td style="text-align: right;">210件</td> <td style="text-align: right;">190件</td> <td style="text-align: right;">265件</td> </tr> <tr> <td>年間収入</td> <td style="text-align: right;">111,962,653円</td> <td style="text-align: right;">97,426,816円</td> <td style="text-align: right;">103,255,292円</td> </tr> <tr> <td>年間支出</td> <td style="text-align: right;">106,331,428円</td> <td style="text-align: right;">84,295,422円</td> <td style="text-align: right;">77,883,563円</td> </tr> <tr> <td>収支差引</td> <td style="text-align: right;">5,631,225円</td> <td style="text-align: right;">13,131,394円</td> <td style="text-align: right;">25,371,729円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、医師派遣元の県と協力しながら医師の確保に努めるとともに、住民の健康維持を図るため、地域医療サービスの提供に努めていく。</p> <p style="text-align: center;">その他財源は診療報酬他</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	年間診療日数	213日	216日	210日	年間件数	5,960件	5,990件	6,275件	1日平均	28件	27.7件	29.9件	訪問リハビリ	210件	190件	265件	年間収入	111,962,653円	97,426,816円	103,255,292円	年間支出	106,331,428円	84,295,422円	77,883,563円	収支差引	5,631,225円	13,131,394円	25,371,729円
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																													
年間診療日数	213日	216日	210日																														
年間件数	5,960件	5,990件	6,275件																														
1日平均	28件	27.7件	29.9件																														
訪問リハビリ	210件	190件	265件																														
年間収入	111,962,653円	97,426,816円	103,255,292円																														
年間支出	106,331,428円	84,295,422円	77,883,563円																														
収支差引	5,631,225円	13,131,394円	25,371,729円																														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	常駐医師数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>民間では採算性の低い地域において、地域住民の健康維持を図るため、常駐医師の確保及び公的診療所の維持を継続していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	軽費老人ホーム運営補助事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	老人福祉法、鳥取市軽費老人ホーム運営費補助金交付要綱
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	軽費老人ホーム運営補助金			予算事業コード	01-03-01-05-25-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等
意図 (どのような状態にするために)	軽費老人ホームで食事の提供その他の日常生活上の支援を、所得に応じて無料又は低額な料金で利用できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画		施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う
年度別実績			施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う 助成施設：6施設			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	146,298	0	0	
	直接経費 A	0	0	144,849	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	144,849	0	0		
人件費 B	0	0	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	助成施設		目標	0
			実績	0	0	6	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-20-3453</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P53(福010)</p> <p>【事業の概要】 軽費老人ホームのサービス提供に要する費用(事務費)のうち、社会福祉法人等が基準に基づき軽減した利用料相当額に対して助成する。</p> <p>【事業の成果】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、軽費老人ホームに入所して所得に応じて無料又は低額な料金で食事の提供その他の日常生活上の支援を受けることで、健康で穏やかな生活を送れるよう支援した。</p>																			
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[助成施設]</td> <td style="text-align: center;">[延べ利用者数]</td> <td style="text-align: center;">[月平均利用者数 /12]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">122,389千円</td> <td style="text-align: center;">5施設</td> <td style="text-align: right;">2,402人</td> <td style="text-align: right;">200人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">132,067千円</td> <td style="text-align: center;">6施設</td> <td style="text-align: right;">3,283人</td> <td style="text-align: right;">274人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">144,849千円</td> <td style="text-align: center;">6施設</td> <td style="text-align: right;">3,258人</td> <td style="text-align: right;">272人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">…県所管年度の6施設の実績を参考に表示。</p> <p>【今後の課題・方向性】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、健康で穏やかな生活を送れるよう、社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成を行う。</p>		[決算額]	[助成施設]	[延べ利用者数]	[月平均利用者数 /12]	平成28年度	122,389千円	5施設	2,402人	200人	平成29年度	132,067千円	6施設	3,283人	274人	平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人
	[決算額]	[助成施設]	[延べ利用者数]	[月平均利用者数 /12]																
平成28年度	122,389千円	5施設	2,402人	200人																
平成29年度	132,067千円	6施設	3,283人	274人																
平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人	272人																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	助成施設			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>老人福祉法に基づいて実施する「家族による援助を受けることが困難な高齢者等の支援事業」であり、必要に応じて継続実施していかなければならない事業であると考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	～
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業費			予算事業コード	01-03-01-05-18-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	平成27～29年度に実施した「地域包括ケア推進に係るファシリテーション研修」修了者
意図 (どのような状態にするために)	医療・介護に係る多職種連携を強化し住民参加型学習会を推進するファシリテーターのスキルアップを図る
手段 (どうするのか)	東部医師会へ1市4町が事業委託をし、東部地域全体の在宅生活を支える仕組みを構築していくため、厚生労働省が示す8事業の取り組みを推進している。その1つである住民への普及啓発の要となる「ファシリテーターの養成・フォローアップ研修」を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別実績			2回			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,473	0	0	
	直接経費 A	0	0	230	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	219	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	11	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修の開催	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
			回	目標	0	0	2	2	2
			実績	0	0	2	0	0	
	(指標の説明)								
	2		目標	0	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-22-5694</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概目次：当初予算・P57(福017)</p> <p>【事業の概要】 県東部保健医療圏の医療部門と介護部門の連携を強化し、地域の専門職を含めた安定的な支援と連携体制の確立を図るため、県東部福祉保健事務所が実施していた県東部保健医療圏を対象とする「在宅医療・介護連携推進事業」を本市が引き継ぎ、医療と介護の専門職の連携強化と住民参加型の研修啓発活動を推進するための「ファシリテーター養成研修」を実施する。</p> <p>【事業の成果】 フォローアップ研修 2回</p> <p>【今後の課題・方向性】 より地域の状況に併せた住民学習会を実施していく上で、ファシリテーターの役割の強化や研修内容の再構築を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	研修の開催			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ファシリテーターの養成は一旦休止し、フォローアップに重点を置き実施できた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	より地域の状況に併せた住民学習会を実施していく上で、ファシリテーターの役割の強化や研修内容の再構築を行う。		

事務事業評価シート

事務事業コード	034900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	福祉相談窓口設置事業		所属名	福祉部 地域福祉課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域福祉相談センター事業費			予算事業コード	01-03-01-01-59-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域福祉に関する悩みや不安をかけている方々
意図 (どのような状態にするために)	課題の早期解決につなげるため
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等との協働により、住民の皆さんの身近な生活圏域で、福祉に関する相談を一旦丸ごと受け止める窓口「地域福祉相談センター」を開設し、生活相談員や介護支援相談員などの職員が福祉課題を抱える相談者に対して助言を行ったり、専門機関へ取り次ぐ

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			地域福祉相談センターの開設	地域福祉相談センターの運営	地域福祉相談センターの運営	
	年度別実績			市内23箇所に地域福祉相談センターを開設した			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,000	0	0	
	直接経費 A	0	0	2,827	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,827	0	0	
人件費 B	0	0	2,173	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	地域福祉相談センターの延べ設置数	箇所	目標	0	0	23	25	25	
				実績	0	0	23	0	0	
	(指標の説明) 地域福祉相談センターの延べ設置数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】6月補正(福001)</p> <p>【事業の概要】 介護、障がい、育児等様々な日常生活上の相談を一つの窓口で受付け、適切な助言等行うとともに、必要に応じ各関係機関へつないでいくことで、問題の解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 社会福祉法人等と協定を結び、介護、障がい、育児等の相談を総合的に受付ける「地域福祉相談センター」を設置した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業継続</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地域福祉相談センターの延べ設置数			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり今年度事業を完了したため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	予定どおり、地域福祉相談センターを開設できたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も社会福祉法人等との協働・連携を図りながら、福祉課題を抱える相談者に対して助言を行ったり、専門機関へ取り次ぐことによつて、課題の早期解決につなげていく。</p>		